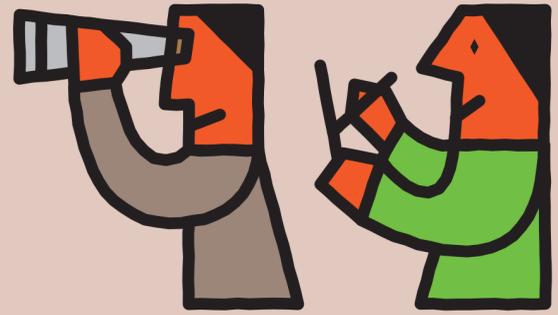




地域課題を根っこから考える
信州大学 Think Local Academy 2024
 Directed by 信州大学農 X 推進室

開催
期間

9月7日(土) - 12月9日(土)



「地域課題を解決する」って、何のことをいうんだろう。
 ひとことで「課題」とくられるけれど、その場所には、
 その土地を愛する人がたくさんいて、その場所で生き、そこで働く人がたくさんいる。
 だから、まず考える。考えて、目にみえる課題ではなく、その課題の根っこを問い直そう。

大学だからできることがある。

大学と学生、社会人が共に学び、考える

Think Local Academy Vol.02 が始まります。

講師プロフィール



奥田 悠史

Think Local Academy プロデューサー |
 株式会社やまとわの取締役 |
 inadani sees マネージャー



小田 裕和

株式会社 MIMIGURI
 デザインストラテジスト /
 リサーチャー |
 合同会社 co-nel: 代表



但馬 武

fascinate 株式会社 代表取締役社長 |
 最愛ブランド戦略構築家



曾 緋蘭

株式会社 ROOTS 代表 |
 ソーシャルデザイナー



宮原 大地

信州大学 農 X 推進室 副室長 |
 博士(農学)

募集要項

定員	20名前後 ※応募が多数の場合は応募理由から選考	対象者	大学生、大学院生、社会人	応募の要件	プログラムの全ての講義に出席可能 課題に積極的に取り組めること
場所	長野県伊那市 産学連携拠点施設 inadani sees / 信州大学農学部	受講料 全4日間	学生 無料 / 社会人 10,400円 (税込) ※交通費、食費自己負担 ※フィールドワークのため保険加入推奨	申し込み 締め切り	8月25日(日)
受講者選考 決定通知日	9月2日(月)	お問い合わせ	agri-x-academy@shinshu-u.ac.jp		

申し込みページ



昨年度の様子



プログラムの特徴

問いの立て方を考えるところから始まり、地域社会を Transformation していくためのプロジェクトづくりを目指す

- ・デザイン思考で物事の捉え方を学ぶ
- ・デザイン思考を学んだ上で、フィールドに出て実践者や関係者へのリサーチを重ねる
- ・社会で言われている課題を超えた根っこの部分を自分の言葉で表現する
- ・まず考える。考えて、目にみえる課題ではなく、その課題の根っこを問い直す

URA が学びや信州大学の研究者との連携をサポートします

URA : University Research Administrator の略。

地域課題と大学の研究を結び付け、地域との共同研究創出などに取り組む人材です。

信州大学 URA を窓口として、住民・企業・大学（研究者）・自治体等が一体となった課題解決策の具現化を目指します。



阿部 知子
医学系研究支援



野田 慶司
人文社会学系研究支援



神田 孝文
地域防災・減災



三宅 誠司
農学系研究支援



伊藤 広幸
研究力分析・組織情報分析



藤尾 宗太郎
地域活性化・新規事業創出支援



宮原 大地
農学系・異分野融合研究支援

問いをみつけるローカルデザイン思考



オンラインディスカッション

各日程の間にオンラインでグループディスカッションを開設して、受講生の問いを深めるサポートを行っていきます。

主催 信州大学学術研究・産学官連携推進機構 / アグリ・トランスフォーメーション(農 X) 推進室

協力 株式会社やまとわ

後援 長野県

